

関東アコーディオン演奏交流会 実行委員会ニュース

No. 7

2008.11.17 発行

ニュース担当者

乙津. 笠原. 小神

ホームページ <http://www.kanto-acco.jp>

＝学びあうためのコンクール＝

第20回関東アコーディオン演奏交流会を終えて

《はじめに》

＝学びあうためのコンクール＝、「第20回・関東アコーディオン演奏交流会」に参加して下さった出演者の皆様ありがとうございました。お手伝いをいただいたスタッフの皆様大変ご苦労様でした。審査並びに講評まで長時間に亘り務めて下さった審査員の先生方、また、聴きにいられた方、広告をくださった方々など日ごろよりお力添えいただいている皆様本当にありがとうございました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。

《感想》

例年通り3月に会場取りからスタートして、約6ヶ月の準備期間を経て、赤羽会館（講堂）での演奏交流会でした。今年の特徴は、演奏技術面だけでなく、制限時間の5分をフルに使った演奏を披露して下さる団体が増えたことです。出演団体の皆さんの日ごろの取組みの成果の一つなのではないかなと感じました。

□主な反省材料としては、

- ① 参加団体が前回（第18回）と比較して全ての部門で減少したこと。
- ② 関東アコの特徴でもある会場からの“メッセージカード”の記入が少なかったこと。
- ③ 見学者も目標の100名に若干届かなかったこと。
- ④ プログラムは、320部用意したが足りなかったこと。

等々実行委員会でも意見がだされました。今後、原因などを分析していきたいと思っています。

《2009年度に向けて》

2009年度は「独奏部門」（9月に予定）を開催するのと、11月に「20周年記念」のイベントを企画する予定です。実行委員会は引き続き2009年度に向けて新たな取組みを開始することになります。今後ともご支援の程よろしくお願い致します。

第20回・関東アコーディオン演奏交流会実行委員会

※審査員会より「審査結果ならびに講評」が出されました。同封の別紙「結果発表」をご覧ください。